

香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」と 「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」の連携活動報告(その3)

長谷川 修 一
鶴 田 聖 子

1. はじめに

香川県には、約1400万年前の瀬戸内火山活動によって形成されたサヌカイト等の火山岩類の世界的な学術研究、火山岩類が侵食されて形づくられた残丘が織りなす讃岐平野と備讃瀬戸の造形美および里山や島の岩石を利用した多様な石の文化がある。

地球活動の遺産を見所としたジオパークは、土台となっている大地（ジオ）、生態系（エコ）、人の活動（ヒト）とのつながりを理解し、地域の地球活動の遺産を保全しながら、ジオツーリズム等によって地域の持続可能な発展をめざす活動である。

日本のジオパークには、ユネスコの正式事業活動であるユネスコ世界ジオパークと、日本ジオパーク委員会が認定する国内版の日本ジオパークがある。ユネスコ世界ジオパークは国際的な地質学的重要性を有するサイトや景観が、保護・教育・研究・持続可能な開発が一体となった概念によって管理された、単一の統合された地理的領域で、地域社会を巻き込みながら保全と持続可能な開発を行っている¹⁾。

2023年1月現在、日本ジオパークに46地域が認定されている²⁾。このうち9地域がユネスコ世界ジオパークに認定されている。四国では、室戸がユネスコ世界ジオパークに、四国西予、土佐清水が日本ジオパークに認定されている。また、三好市が日本ジオパークの認定を目指している²⁾。日本ジオパークは半分以上が国立公園地域と重複しているが、日本最初の国立公園の1つである瀬戸内海には瀬戸内を世界に発信するジオパークはまだない。讃岐ジオパーク構想では、香川県全域をジオパークの対象地域として、讃岐平野と備讃瀬戸の自然・歴史・文化を活かした地域の持続的な発展をめざしている（長谷川ほか、2013）³⁾。

筆者らは讃岐ジオパーク構想の推進を目的に、2010年から現在まで継続して香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」を開講し、香川県内の地形・地質と石の文化の魅力を発掘し、讃岐ジオパーク構想に必要なジオサイトの資料を作成するとともに同志の輪を広げてきた^{4) 5)}。2013年度までの成果は香川大学生涯学習研究センター研究報告別冊「讃岐ジオサイト探訪」（長谷川・鶴田、2013）⁶⁾にとりまとめた。2014年度と2015年度は「讃岐ジオサイト探求」を開講し、地形・地質と自然・歴史・文化等との関わりを理解しながら現地を探訪した（長谷川・鶴田、2017）⁷⁾。2016年度からは「讃岐ジオガイド養成講座」を開講し（長谷川・鶴田、2018）⁸⁾、受講生のうち認定された23名（小豆島2名、東讃地区5名、高松市8名、中讃地区5名、西讃地区3名）が讃岐ジオガイドとして活動している。2019年度試行した「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」は、2020年度から本格開講し⁹⁾、現在も継続して開講している^{10) 11)}。

今回、2021年度に引き続き、香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」と「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」を連携して実施したので、その概要を報告する。

2. 香川大学公開講座

2.1 概要

「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」は、香川県内の主要なジオサイトを訪ね、大地の成り立ちと歴史・文化との関わりを考えるとともに、同志の輪を広げていく講座であると同時に、「讃岐ジオガイド養成講座」と連携している講座である。讃岐ジオガイドに認定されたガイドは事前に下見を行い、担当地域のジオガイド同士で謎解きのお題、行程を立案し、ガイド役でない他の讃岐ジオガイドを受講生に見立てて講座当日と同じ行程でリハーサルを実施して、コースやガイド方法の改善を行う。講座当日は受講生を案内後、受講者にアンケートを行い、次のガイドに活かすようにしている。

2.2 2022年度香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」

「讃岐ジオガイド養成講座」は、香川県内を案内するジオガイドを養成するために、ジオガイドに必要な専門的な知識の共有、ガイド技術の向上、リスクマネジメント等を学ぶ講座である。讃岐ジオガイド養成講座を4回以上受講すると受講資格が得られ、「讃岐ジオサイト探訪」「讃岐ジオサイト探求」「讃岐ジオガイド養成講座」の授業・現地見学に60時間（12回）以上出席した受講者は、香川大学認定讃岐ジオガイドの資格を得ることができる。

2022年度は上期に「讃岐ジオガイド養成講座」（7）を、下期にジオガイド養成講座」（8）を実施した。

2.2.1 「讃岐ジオガイド養成講座」（7）

受講者は、香川大学認定讃岐ジオガイド18名に加えて、新たに6名が参加し、4月17日、5月22日の2回実施した。

（1）ガイダンス、ジオガイドに必要なスキル、リスクマネジメント

- ①日 時：2022年4月17日（日）
- ②受講者数：23名（男性18名、女性5名）
- ③場 所：香川大学地域人材共創センター
- ④協 力：香川県赤十字安全奉仕団委員長 中西俊明 氏、香川大学地域強靱化研究センター 高橋真理
- ⑤内 容：
 - ・ジオガイドに必要なスキル（香川大学特任教授 長谷川修一）ジオパークの視点（ヒト、エコ、ジオのつながりを考えて地域を深く知る）について、香川大学から栗林公園までのジオツアーを例にしたジオストーリーの作り方を学習した。
 - ・リスクマネジメント」（香川大学 高橋真理）ツアー中の転倒、事故が起きることを想定した応急手当の概略の講義を受けた後、救命救急実習を行った。

（2）森の歩き方（まんのう町）

- ①日 時：2022年5月22日（日）
- ②受講者数：21名（男性17名、女性4名）
- ③コ ー ス：琴南公民館→大川山周辺→ことなみ未来館→みんなでつくる自然史博物館
- ④連 携：まんのう町（琴南公民館駐車場）、ことなみ未来館、みんなでつくる自然史博物館
- ⑤内 容：

- ・森さんぽ研修（森林インストラクター 横山昌太郎 氏）
- ・ジオサイト探訪（長谷川修一）
- ・森さんぽ研修振り返り（ことなみ未来館）
- ・みんなでつくる自然史博物館見学

(3) アンケート結果 (図1)

- ① 4月14日のアンケート結果によると、講座の内容は回答者全員が「大変満足」「満足」と回答し、午前中のジオツアーの作り方、香川の地形地質も複数人が勉強になったと回答していた。また、午後からのリスクマネジメントの実習では、応急手当、心肺蘇生術等、山で事故があった場合を想定しての実習が勉強になったと回答があった。
- ② 5月22日のアンケート結果によると、ジオストーリーの組み立て方、生物の生態、講師の話がジオガイドとして勉強になったと回答があった。また、受講生へ問いかけ、気づかせるガイド方法が勉強になった、絵を使ったり実験を入れたりするのも分かりやすかったとの回答もあった。



ガイダンス



救命救急講習



森の歩き方研修（大川山）



ジオサイト研修（大川山）

写真1 2022年度香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」(7) 受講状況

2.2.2 「讃岐ジオガイド養成講座」(8)

受講者は、香川大学認定讃岐ジオガイド14名、香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」受講者7名、香川大学リカレント専門講座「ジオツーリズムエキスパート養成講座」の受講者3名、その他ツーリズムの専門知識を持つ6名で、1月8日に第1回目が実施され、第2回目は3月12日に予定されている。

(1) ガイダンス、ジオガイドに必要なスキル、リスクマネジメント

①日 時：2023年1月8日(日)

②受講者数：30名

③場 所：香川大学地域人材共創センター

④内 容：

- ・ガイダンス・講義：讃岐ジオガイドに求められること(香川大学特任教授 長谷川修一)
- ・講義：三好ジオパーク構想の取組み(三好市ジオパーク推進室地質専門員 殿谷梓 氏)
- ・ワークショップ「地域の魅力をいかに発信するか～プラタモリの企画案をつくろう～」
(長谷川修一・殿谷梓 氏)
- ・アンケート結果(図2)

アンケート結果によると、講義では、「ストーリー性をもって探究していくことの重要性を再確認した」「三好市、地域住民、学校、関係機関と一体となったジオパーク推進が勉強になった」、ワークショップでは「お客様のニーズ(タモリ)から具体的な候補地選びと内容について全員で考えを出し合いストーリーを作り上げる手法を学んだ」などの回答があった。また自由筆記では、「讃岐の地質だけでなく、多様な石の文化、遍路など香川統一のストーリーで各地域の話をつないだらどうなるか聞きたい」とジオストーリーの範囲拡大の意見もあった。

(2) ジオサイト研修(坂出市五色台)

2023年3月12日(日)には以下の行程で、ジオサイト研修を行う予定である。

10:00-12:00 ジオとエコのつながりを探る(野外研修)

(香川大学特任教授 長谷川修一、森林インストラクター 横山昌太郎 氏)

13:00-15:00 ガイドの役割・お客様を楽しませるコツ(横山昌太郎 氏)

15:00-16:00 ワークショップ(長谷川修一・横山昌太郎 氏)



ガイダンス



三好ジオパーク構想の取組み



ワークショップ

写真2 2022年度香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」(8)受講状況

2.3 2022年香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」

2.3.1 実施状況

2022年度の香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」は、4月「栗林公園（高松市）」、5月「引田のまちと引田城址（東かがわ市）」、6月「綾川の流れ（綾川町）」、10月「宇多津のまちと聖通寺山（宇多津町）」、11月「豊島（土庄町）」、12月「弥谷寺・天霧山（三豊市・善通寺市）」で実施した。

(1) ガイダンス・栗林公園（高松市）

①探訪日時：2021年4月25日（日）

②受講者数：28名

③ガイド：講師 長谷川修一

④お題：なぜ「高松城下」は浸水しにくいのか？

⑤行程：ガイダンス→（昼食）→香川大学研究交流棟→四番丁スクエア→亀井戸→大井戸→洪柿地藏→栗林公園赤壁→栗林公園南湖→栗林公園北口駅→亀阜公園→香川大学研究交流棟

⑥内容：「高松城下」はなぜ浸水しにくいのかを、高松城下の井戸、高低差、旧香東川の流れと現在の地形を考えながら歩いた。

⑦アンケート結果（図3）

講座は大変満足15名、満足9名、ふつう1名であり、概ね好評であった。「何気なく歩いている商店街も高低差があることがわかった」「高松の繁栄の秘密に気づき、地形や石についても知識が深まった」と探訪内容に満足している。栗林公園は、2022年2月26日にNHKプラタモリ（巨大な海城は町をどう発展させた？）で取り上げられていたこともあり、受講者の関心が高かった。

(2) 引田のまちと引田城址（東かがわ市）

①探訪日時：2022年5月15日（日）

②受講者数：24名

③担当ガイド：友國和俊、岡田武久、松岡太、亀井満夫、渡辺加奈、森繁（アドバイザー）

④連携：東かがわ市生涯学習課、引田まちなみガイドの会

⑤お題：なぜ「引田」という地名になったのか？

⑥行程：東かがわ市つばさ交流センター→引田のまち並み・讃州井筒屋敷→誉田八幡宮→城山登山口→和泉層群礫層1→本丸石垣→本丸→化粧池→引田灯台→北二の丸石垣→北曲輪→田ノ浦キャンプ場（昼食）→大池→松原塩田跡→塩釜神社→三叉路→東かがわ市つばさ交流センター

⑦内容：引田のまちの高低差、後背湿地にできた塩田、池、その痕跡をたどりながら、「引田」は何を意味しているのかを考えた。引田まちなみガイドの会の3名には引田城址の案内をしていただいた。

⑧アンケート結果（図4）

講座は大変満足15名、満足9名、ふつう3名であり、概ね好評であった。「引田城を地質から考えたことはなかった」「ジオガイドと地域の詳しいガイドで考えや理解が深まった」と満足点が挙げられた。一方、「進行がスムーズだともっとよかった」「説明が長い」等の改善点の指摘があり、今後の反省材料とし

たい。

(3) 綾川の流れ（綾川町・丸亀市）

①探訪日時：2022年6月12日（日）

②受講者数：26名

③担当ガイド：山本和彦、今岡幹典、鈴木一伸、岡本幸晴、山下直樹

④連携：丸亀市教育部文化財保存活用課（快天山古墳説明）、綾川町総務課いいまち推進室（駐車場）

⑤お題：綾川は昔どこを流れていたのか？

⑥行程：ことでん滝宮駅→ことでん栗熊駅→東馬指南交差点東→快天山古墳（丸亀市教育部文化財保存活用課主任 谷 梢 氏）→住吉神社→池尻→渡池の堤防跡→脇→脇神社（昼食）→白が淵（綾川屈曲部）→沈下橋→白石神社→旧こんぴら街道→川の坂→滝宮橋→滝宮神社→滝宮天満宮

⑦内容：綾川は現在の流路になる前どこを通っていたのか、堤池、脇などの地名の由来は何か、そして現在の綾川の流路沿いに栄えた滝宮周辺の文化について、歩きながらひも解いた。講座では、綾川町役場に集合して、公共交通機関を使って栗熊駅まで移動した。

⑧アンケート結果（図5）：

講座は大変満足10名、満足9名、ふつう2名であり、概ね好評であった。「よく調べていた」「図や写真を使って分かりやすかった」と感想が述べられる一方、「テーマがはっきりと伝わらなかった」と全体のストーリーの構築の指摘があった。また、「距離が長かった」「歩行、天気がきつかった」と天候に合わせた歩行距離を考える必要があることが分かった。

(4) 宇多津のまちと聖通寺山（宇多津町）

①探訪日時：2022年10月16日（日）

②受講者数：25名

③担当ガイド：都築克徳、山下直樹、横山昌太郎、大川義明、山本和彦

④連携：宇多津町文化財保護協会 会長 畑元 氏、宇多津町（駐車場）

⑤お題：ジオで解く、宇多津の町の発展の謎、東と西の山の巨石の謎

「なぜ宇多津の町は青ノ山山腹に発展したか」「なぜ宇多津に巨石があるのか」

⑥行程：宇多津町役場駐車場→旧水門の門柱→宇夫階神社→地藏餅→圓通寺（トイレ）→三ツ岩（昼食）→鴨田川→ガラガラ公園（トイレ）→聖通寺→聖通寺山礫層→常盤公園→ゆるぎ岩→宇多津町役場

⑦内容：宇多津のまちの高低差を確かめながら、海際にできる砂州と隣接する大東川について学習した。また青ノ山、聖通寺山にはなぜ巨石が多くみられるのか、聖通寺山礫層はどのようにしてできたのか等の大地の成り立ちについて、理解度を高める試みとして実験を用いた。

⑧アンケート結果（図6）：

講座は大変満足11名、満足8名、ふつう1名であり、概ね好評であった。「歴史とジオのバランスがよかった」「巨石のことがよくわかった」「実験がよかった」と好評であった。また、車の伴走に安心感があったとの回答もあった。「地元のゲスト案内がいると楽しい」と文化を説明いただいた宇多津町文化財保護

協会 会長 畑元 氏の案内も好評であった。

(5) 豊島 (土庄町)

①探訪日時：2022年11月20日 (日)

②受講者数：21名

③担当ガイド：山口晴司、山西輝美

④連携：土庄町生涯学習課

⑤お題：豊島の“豊”とは何に由来するのか？

⑥行程：高松港→(高松港-家浦港チャーター船：豊島フェリー)→家浦港→家浦浜地区→家浦八幡神社→家浦岡春日神社→土庄層群砂礫層→(家浦港-唐櫃港)→(昼食：唐櫃集会所)→十輪寺、スタジイの森遠望→唐櫃の清水→唐櫃の地すべり→住吉神社→唐櫃浜→(唐櫃港-土庄港)→(土庄港-高松港) *小豆島からの参加者は家浦港集合

⑦内容：豊島はどのように豊かになったのか、豊島石がどのように流通したのか、棚田・唐櫃の清水がどのように形成されたのかを大地の成り立ちから学習した。

⑧アンケート結果 (図7)：

講座は大変満足12名、満足8名であり、好評であった。「豊島石の由来、石の活用で島が豊かになっていったことが分かった」「棚田を歩いたのは初めての経験だった」と回答があった。また、高松からチャーター船に乗った方からは「船が楽しかった」と、チャーター船内で行った「船上ジオガイド」に満足していた。一方、「時間が足りず予定地点を全部まわれなかった」、「初めの解説で答えがネタバレ状態になっていた」ことなどが残念だったと記載されていた。

(6) 弥谷寺・天霧山 (三豊市・善通寺市)

①探訪日時：2022年12月11日 (日)

②受講者数：24名

③担当ガイド：前川久則、篠原五良、宮崎誠司、中村千怜

④お題：なぜ弥谷山に「イヤダニマイリ」という民俗信仰が生れたのか？

⑤行程：道の駅ふれあいパークみの→風化花崗岩露頭→賽の河原→凝灰岩転石→大師堂・獅子岩窟→天霧石製五輪塔→(昼食)→凝灰岩の磨崖仏・弥谷寺本堂→隠砦跡(瀬戸内海・天霧山眺望)→大師堂前→凝灰岩露→道の駅ふれあいパークみの

⑥内容：弥谷寺はなぜこの場所にできたのか、層厚な凝灰岩は何を物語っているのか、大地の成り立ちから現在の弥谷寺の形成に至るまでを学習した。

⑦アンケート結果 (図8)：

講座は大変満足11名、満足9名で、「地質の観点からのツアーは他にはない」「歴史の話も絡んでいて興味が持てた」「弥谷寺のお寺の歴史についても面白かった」と大地の成り立ちと歴史を絡めたガイドが大好評であった。また、弥谷山西側に広がる古三野津湾について、ガイドの前川久則氏が発見した「三野津湾クレーター(仮称)」の仮説の説明も高い評価を得た。



栗林公園（高松市）



引田のまち遠望（東かがわ市）



堤山（綾川町）



コアストーン実験（宇多津町）



家浦八幡神社（土庄町豊島）



弥谷寺（三豊市）

写真3 2022年度香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」受講状況

3. 関連行事

3.1 これまでのシンポジウム

香川大学では、2019年11月に発足した讃岐ジオパーク構想推進準備委員会と連携して、2020年度に「ジオパーク×防災シンポジウム」と「～東日本大震災から10年～サヌカイトフォーン演奏によるレクイエムと巽好幸先生が語るサヌカイト」を、2021年度に「ジオパーク×グローバル人材育成シンポジウム」と「ジオパーク×地方創生シンポジウム」を開催した。これらの実績を基に、2022年度から始まる香川大学の第四期中期計画の中で、四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構が担う「レジリエント社会の創造及びサステナブルな地方分散型社会への貢献」の取組みとして、「ジオアートJr.マイスター制度」を立ち上げることとなった。2022年度は8月に「高校生のためのジオアートJr.マイスター養成講座キックオフシンポジウム」を開催し、10月から「高校生のためのジオアートJr.マイスター養成講座」を開講している。

3.2 香川大学ジオアートJr.マイスター養成講座 キックオフ・シンポジウム

(1) シンポジウムの概要

令和4年8月9日（火）、「香川大学 高校生のためのジオアートJr.マイスター養成講座キックオフシンポジウム」を開催し、令和4年10月から開講予定の「高校生のためのジオアートJr.マイスター養成講座」を紹介すると共に、ジオの視点から地域を考える取り組み、養成したい人材像について考えた。当シンポジウムでは一般の会場受け入れを40名に制限し、YouTube視聴（録画配信）を取り入れた。事前申込者数は36名、YouTube動画視聴者は50名であった。



開会挨拶



来賓挨拶



趣旨説明



基調講演(川村教一先生)



パネルディスカッション



閉会挨拶

写真4 香川大学ジオアートJr.マイスター養成講座 キックオフ・シンポジウム実施状況

(2) 主催・共催

主催：香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

共催：一般社団法人 四国クリエイイト協会、讃岐ジオパーク構想推進準備委員会

(3) 内容

①開会挨拶：香川大学理事・副学長（教育担当）今井田克己

②来賓挨拶：香川県教育委員会教育長 工代祐司 氏

③趣旨説明：香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 副機構長 長谷川修一
 高校生のための「ジオアートJr.マイスター養成講座」のねらい

④基調講演：兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科 教授 川村教一 氏
 紡ごう！新たなジオストーリー ～地域の新たな魅力を発信しませんか～

⑤パネルディスカッション：ジオの視点から地域を深く知ろう

パネリスト：

香川県立高松西高等学校教諭 高橋真弓 氏：なぜ「ブラ☆きなし」

香川大学教育学部教授 平篤志 氏：地域のなぜを紐解く地理学

香川大学創造工学部教授 野々村敦子 氏：地理情報システムで地域を可視化する

香川大学創造工学部講師 柴田悠基 氏：地域の風土の根差したジオアート

香川大学大学院工学研究科博士後期課程 出射隆文 氏：高校生に期待すること

コーディネーター：香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 副機構長 長谷川修一

⑥閉会挨拶：香川大学副学長・四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構長 吉田秀典

(4) アンケート結果

アンケート回答者は全員で17名であった。シンポジウムの満足度は86%が満足、やや満足を選択し、地理・地質・防災など様々な観点から見えてくる課題、高校生とのかかわり方等が身近に参加者に伝わり、興味深く感じてくれていたようである。基調講演では豊岡市の取組みについて解説いただき、ジオストーリーの重要性が分かったようである。また、参加していた高校生からは「学校で学習したことをさらに発展させた内容であり、さらに深い内容を学べるというポイントに魅力を感じた」「文化、歴史の背景にはジオの面が関わっていることが面白かった」と養成講座に前向きな回答が寄せられた。また、教員からは「教育に関することはすべて有効であると思うが、どうやって高校生の心に火をともしかが課題」と問題点が指摘された。

4. おわりに

本年度も讃岐ジオパーク構想推進準備委員会と連携して、てくてく通信（わがかがわ観光推進協議会主催）掲載の「ジオで巡るツアー」を実施し、東讃地域：雨滝山周辺（5月29日）、嶽山周辺（12月3日）、小豆島地域：醬の里（6月11日）、土渕海峡周辺（12月17日）、高松市地域：屋島（5月21日）、仏生山（11月19日）、中讃地域：金山（5月29日）、丸亀城下（12月10日）、西讃地域：大野原（5月28日）、古三野津湾（10月29日）、伊吹島（3月5日を予定）のガイドを行った。アンケート調査によると、リピーターが多く参加しており、讃岐ジオパーク構想の認知度も高くなってきた。嶽山は三木町観光協会のイベントであるMiki Green Out Meetingと連携したツアーを行い、県外の方、県内でも新規の方に参加して頂き、興味をもってもらうことができた。今後、「ジオで巡るツアー」に食を取り入れたツアー等も取り入れ、付加価値のあるジオツアーを提供してしたい。

来年度の香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」は、石器時代から使われていた讃岐の石サヌカイト（坂出市）、古墳時代の石棺から近代化遺産までの驚きの山石の文化（高松市・綾川町）、雨滝山・火山（ひやま）と中世の火山石の文化（さぬき市）、伊吹島の石の文化（観音寺市）、中世の天霧石の文化（善通寺市）、小豆島の多様な石の文化（土庄町・小豆島町）を探訪し、「讃岐の石の成り立ちと石の文化」に焦点を当てた講座を実施予定である。

【参考文献】

- 1) 日本ジオパーク委員会：<https://jgc.geopark.jp/whatsgeopark/index.html>（2022.1.28閲覧）
- 2) 日本ジオパークネットワーク：<http://www.geopark.jp/>（2022.1.28閲覧）
- 3) 長谷川修一・鶴田聖子・寺林優・高木知巳・前田宗一：讃岐ジオパーク構想，日本応用地質学会中国四国支部平成25年度研究発表会論文集，19-24，2013.
- 4) 長谷川修一・鶴田聖子：香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」活動報告，香川大学生涯学習教育研究センター研究報告，第19号，2014.
- 5) 長谷川修一・鶴田聖子：香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」活動報告（その2），香川大学地域連携・生涯学習教育研究センター研究報告，第24号，2019.
- 6) 長谷川修一・鶴田聖子：香川大学生涯学習教育研究センター研究報告別冊「讃岐ジオサイト探訪」，2013.

- 7) 長谷川修一・鶴田聖子：香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探求」活動報告，香川大学生涯学習教育研究センター研究報告，第22号，2017.
- 8) 長谷川修一・鶴田聖子：香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」活動報告，香川大学生涯学習教育研究センター研究報告，第23号，2018.
- 9) 長谷川修一・鶴田聖子：香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト」活動報告，香川大学地域連携・生涯学習センター研究報告，第25号，2020.
- 10) 長谷川修一・鶴田聖子：香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」と「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」の連携活動報告，香川大学地域連携・生涯学習センター研究報告，第26号，2021.
- 11) 長谷川修一・鶴田聖子：香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」と「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」の連携活動報告(2)，香川大学地域連携・生涯学習センター研究報告，第27号，2021.

2022. 5. 22
香川大学危機管理教育・
研究・地域連携推進機構

讃岐ジオガイド養成講座受講者アンケート（結果）

1. 4月17日の第1回讃岐ジオガイド養成講座について

(1) 講座の内容はどうでしたか。

大変満足 7

満足 9

(2) 何が勉強になりましたか？

- ・ガイドの仕方
- ・ジオガイドの心得
- ・香川の地形地質の特徴(2)
- ・栗林公園の石の知識
- ・旧香東川の跡
- ・地質学、大地の成り立ち
- ・負傷者の運搬の仕方
- ・応急手当(2)
- ・心肺蘇生術(2)
- ・救急の知恵(三角巾の使い方)
- ・どれもよかった

2. 5月22日の讃岐ジオガイド養成講座について

(1) 講座の内容はどうでしたか。

大変満足 8

満足 7

(2) 何が勉強になりましたか？

- ・大川山を含む讃岐山脈が和泉層群でできていることが確認できた。
- ・体感できたこと
- ・色々な専門家から話を聞き、それがつながっていくのが面白かった。
- ・森のガイドが後ろ向きに歩いていたこと
- ・森の歩き方がよくわかった。
- ・ガイドとして必要なスキル
- ・ガイドの心得と客商売
- ・ジオガイドが学ぶべきことがたくさんあった。
- ・説明資料が用意されていたこと
- ・客のニーズに合わせたガイド
- ・ストーリー性をもたせること(疑問点をもつ)
- ・興味をいかに持たせるのかの技術
- ・テーマに沿ったツアー構成
- ・マムシ草の雌しべの下にある昆虫の脱出口の説明
- ・ガイドの心得
- ・生命の大切さ
- ・生き物の生き方
- ・生物の生態(2)
- ・1つのことに対する色々な見方

- ・(横山先生) 絵をサッと描いて言葉の説明をつけくわえ、分かりやすく説明してくれた。コケに霧吹きで水をかける実験も分かりやすかった。
- ・(長谷川先生) 受講者への問いかけを多用。気づかせる説明。
- ・すべて

3. 今後、ジオガイド養成講座で学びたいことは？

- ・ジオ以外の様々な事、生物とのつながりなどをもっと深く知りたい。
- ・地質調査
- ・基本から発展まで
- ・「鉱物薄片作り」の実習等、研究者の真似事もやってみたい。
- ・難しい質問に対する対応の仕方
- ・生き物についてもっと知りたい
- ・ガイドに必要なスキルを学びたい。
- ・ガイドをするにあたって、資料の集め方
- ・ガイド力を高めたい。
- ・話し方、マイクの使い方、参加者どう話したらキャッチボールできるのか。

4. その他自由記述

- ・回数が多い方がうれしい。
- ・参加のチャンスを増やしてほしい。
- ・体力の許す限り、大地の成り立ちを深めたい。
- ・案内する対象のことをよく知らなければ確なガイドはできないので、対象地ごとに説明事項をあらかじめ決めておくのが必要ではないか。

図1 「ジオガイド養成講座(7)」公開講座受講者アンケート結果

2023. 1. 8

香川大学危機管理教育・
研究・地域連携推進機構

讃岐ジオガイド養成講座受講者アンケート（結果）

1. 講義：ガイダンス・讃岐ジオガイドに求められること

（香川大学特任教授 長谷川 修一）

(1) 講座の内容はどうでしたか。

大変満足 5
満足 6
普通 1

(2) 何が勉強になりましたか？

- ・企画書を書く上で気をつける点について、讃岐のジオについて学べたことが勉強になった。
- ・基本の確認。反復は重要。
- ・ガイドの視点がちがう
- ・ジオガイドに必要なスキルについて「お題を設定し、目の前の地物からジオ・エコ・ヒトの繋がりを物語ること」
- ・せとうち讃岐ジオストーリー：瀬戸内海と讃岐の年代順形成過程
- ・せとうち讃岐ジオストーリーをベースにその土地にあったジオストーリーを付加して考えていく。わかりやすい説明、コミュニケーションスキル
- ・ジオの基本知識だけでなく、香川県全般のジオの現状とこれからの目標について理解を深めた。
- ・知識を与えるのではなく、見えないものを見えるものから伝えるストーリーが必要ある等、インタープリターとしての大切な心構えを学べたことが一番勉強になった。インタープリテーションをジオといかに結びつけるのかは、里海ガイドとしてもこれからもっと加えていく視点であると強く感じた。
- ・ジオ・エコ・ヒトのつながりを理解することが地域の深い理解につながるがよくわかった。また、ストーリー性をもって探究していくことの重要性を再確認した。
- ・ガイドとして分かりやすく伝えるには、正しい知識を身に付けること。地域を深く知ること
- ・地質・文化・産業等を単独で考えるのではなく、相互に関連付けていくことの大切さ
- ・「ブラタモリ」を例にお客様のニーズに沿うことが一番重要であること、さらにガイドの実践として手順、スキルをわかりやすくご説明いただいたこと。
- ・今のままで継続してほしい。
- ・イヤダニマイリを続けている人の話を聞いてみたいと思った。
- ・今回マスクが複数あり、よく聞こえた。

2. 講義：三好ジオパーク構想の取組み

（三好市ジオパーク推進室地質専門員 殿谷 梓）

(1) 講座の内容はどうでしたか。

大変満足 6
満足 4
普通 1
あまり満足していない 1

(2) 何が勉強になりましたか？

- ・三好市のジオについて学ぶことができ、勉強になった。
- ・具体的事例が知れたこと
- ・チラシが統括的でよくできていた。イラストがよかった。
- ・三好ジオパークの特徴は「動く大地が創った、空へつづく集落と吉野川の流れ」に集約されていると思った。
- ・砂質片岩と泥質片岩での地滑りによる斜面崩壊の違い
- ・三好市、地域住民、学校、関係機関と一体となったジオパーク推進
- ・ジオ+αで色々挑戦をされていることはたいへん参考になった。
- ・ジオパークというものが、ジオガイドとしてどの視点をもって考えるのか、そのストーリーの作り方やジオパークを地域でどう活用し活かすかについての構想が勉強になった。
- ・以前、みよし市に石を掘りにいきました。そのときにジオパーク構想を知り、地域全体で力を入れて盛り上げているようすを感じた。今回の講演でより地質に関して知識が深まるとともにいっそう興味がわいた。
- ・小中学校のジオ学習の取組み。その子どもたちが成長し、次の世代に伝える役割になれるから大昔の大地の変動が、現在の産業や文化に大きく関わっているということ
- ・「動く大地が創った空へつづく集落…」のテーマに引き付けられ、生活に密着した地形（急傾斜地）を中心にした取組みは参考になった。

図2 「ジオガイド養成講座（8）」公開講座受講者アンケート結果

2022. 4. 25
香川大学危機管理教育・
研究・地域連携推進機構

ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪「栗林公園」受講者アンケート（結果）

1. 今日の講座はどうでしたか？

大変満足 15
満足 9
ふつう 3

2. 満足している点と満足できない点があれば教えてください。

満足：

- ・ 詳しい説明 3
- ・ 新しい発見と運動になった
- ・ 栗林公園の河床の砂岩がデザインだけではなく、栗山、川の改修、池を掘ったことと運動しているのがわかった。
- ・ 土地の高さのわずかな違いから川の流れの跡までよくわかった。
- ・ 石の種類がたくさんあって勉強になった。
- ・ 知らないことが多々あった。
- ・ 改めて高松の繁栄の秘密に気づき、新しい知識を得ることができた。地形や石につけても知識が深まった。
- ・ 実際に井戸の位置や道の傾きを確認することができた。
- ・ 栗林公園の丸い砂岩の石を見つけることができた。
- ・ 高松の事情が分かった。
- ・ なかなか行けない場所にガイドをしてもらいながら行けてよかった。
- ・ 日頃何気なく歩いている商店街も緩やかな高低差があることを実感。

3. 案内はよかったですか？

大変良かった 14
良かった 9
ふつう 1

4. どの案内がよかったですか？

市内の高低差 2
大井戸 2
井戸の話 3
洗柿地藏
栗林公園 6
砂岩 3
播鉢川の暗渠
長谷川先生 2

5. お題「なぜ高松城下は浸水しにくいのか」は適切でしたか？

はい 24
わからない 1
香東川の河道めぐりはどうか？

6. 改善点

- ・ 交通整理にメリハリをつけてほしい。
- ・ 入場料が必要なときはあらかじめ集金してはどうか。

7. 自由筆記

- ・ 付き添いのガイドの私語がうるさく、聞き取りにくいことがあった。
- ・ 高松市に住んでいても初めて知ることが多く楽しかった。商店街も土地の高低差が分かって楽しかった。
- ・ 大変楽しかった。
- ・ 午前中に全体のガイダンスがあったのがよかった。
- ・ 栗林公園の見方が変わった。
- ・ なかなかハードで、運動になった。 2

図3 ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪「ガイダンス・栗林公園」（高松市）アンケート結果

2022.5.15
香川大学危機管理教育・
研究・地域連携推進機構

ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪「引田のまちと引田城址」受講者アンケート(結果)

1. 今日の講座はどうでしたか？

大変満足 10
満足 10
ふつう 3

2. 満足している点と満足できない点があれば教えてください。

満足：

- ・引田城を歴史から考えたことはあるが、地質から考えたことはなかった。
- ・なかなか行けない城跡をガイド付きで廻れてとても楽しかった。どの方の説明も分かりやすかった。
- ・全く知らなかった引田の地層や歴史をたくさん学ぶことができた。戦国時代からすばらしい城があったこと、塩の産地だったこと上手に説明していただいた。
- ・説明が熱い。
- ・地域の方の説明がよかった。
- ・花崗岩と和泉層群の境がみれてよかった。
- ・引田城跡のジオ(和泉層群と花崗岩)がよく分かった。
- ・よく調べている点
- ・ゲストガイドも多く、詳しい説明が聞けた。
- ・引田城はもう少し時間をかけて歩きたかった。
- ・ジオガイドと地域の詳しいガイドで、考えや理解が深まった。

改善点：

- ・班分けは2つでよかったのではないかな。
- ・説明が長い。
- ・菅田八幡以降の説明は少しくどい感じがした。
- ・進行がスムーズだともっとよかった。

3. 案内はよかったですか？

大変良かった 8
良かった 10
ふつう 2

4. どの案内がよかったですか？

- ・全部 2
- ・どの方もよく調べていてよく分かった。 2
- ・城山
- ・岡田さん
- ・塩田周辺の海拔と塩田の高低差
- ・引田城の和泉層群と花崗岩の境界
- ・塩田関係
- ・引田は良港であったために関西との交流があったこと

が分かった。

- ・砂州に街が栄えたこと
- ・全体、グループの説明(内容に合わせてそれぞれのスタイルがあったのがよかった)
- ・みなさん熱意があった。
- ・引田城
- ・塩田

5. お題「なぜ引田という地名になったのか？」は適切でしたか？

はい 16
いいえ 1
わからない 3

- ・正解が正解でなかった。
- ・満潮になると田んぼが水に浸かるので、引田でOK

6. 改善点

- ・ちょっと全体的に長いと思った。
- ・私語が多いのが気になった。
- ・全体に見せる資料を、事前に配布してもよいかも。
- ・グループが近いと、ガイドの説明が重なって聞き取りにくいときがあった。
- ・得意分野があるのは良いが、ある程度の内容はどのグループでも聞けるように標準化するとおよい。
- ・事前の準備

7. 自由筆記

- ・新しい知識をたくさん得ることができた。
- ・長谷川先生の話をもっと聞きたい。
- ・トイレがきれいでした。
- ・ナマズの化石の話も機会があれば聞きたい。
- ・城山に登って石垣が見れてよかった。
- ・天気が良かった。

8. 備考

- ・日時：5月15日(日)曇時々晴
- ・ゲスト：東かがわ市教育委員会 萩野憲司氏
引田まち並みガイドの会

図4 ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪「引田のまちと引田城址」(東かがわ市)アンケート結果

2022. 6. 12
香川大学危機管理教育・
研究・地域連携推進機構

ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪「綾川の流れ」受講者アンケート（結果）

1. 今日の講座はどうでしたか？

大変満足 10
満足 9
ふつう 2

2. 満足している点と満足できない点があれば教えてください。

満足：

- ・よく調べていた
- ・通常のツアーより説明が深い
- ・ポイントで図や写真を使ってもらって分かりやすかった
- ・説明は大変良かった
- ・最後のまとめがとても分かりやすかった(2)
- ・綾川の流れの説明には満足した
- ・分かりやすい説明だった
- ・綾川の流れをゆっくり歩けた
- ・資料に工夫がみられてよかった
- ・様々な知識が得られた。疑問に思っていたことが分かった。
- ・コロナ対策、時間配分、景観、現地への電車移動、快天山古墳の説明

満足できなかった点：

- ・少々距離が長かった
- ・河川争奪がメインテーマで説明されていたと思うが、はっきりと伝わらなかった
- ・中には説明がよくわからないところもあった
- ・歩行、天気がよかった
- ・天候（熱中症警報）
- ・自動車往来の多い場所は聞き取りにくい

3. 案内はよかったですか？

大変良かった 7
良かった 10
ふつう 3

4. どの案内がよかったですか？

- ・どなたもよかった
- ・快天山古墳
- ・最後のまとめ(5)
- ・全体で綾川の変化が分かったこと
- ・快天山古墳見学できてよかった
- ・午前中
- ・滝宮天満宮
- ・滝宮周辺
- ・引田は良港であったために関西との交流があったこと

- ・綾川の流れについて
- ・渡池の位置と流れがわかった
- ・綾川の流れが変わった話

5. お題「綾川は昔どこをながれていたのか？」は適切でしたか？

はい 18

いいえ

わからない

- (案)「綾川はどうして大きく曲がっているのか？」
「綾川はなぜ流れを変えたのか？」

6. 改善点

- ・注意の引き方の工夫
- ・説明時間を決めて、的確にお願いします
- ・ガイドが熱心さはわかるが、ポイントを絞っていただけると助かる
- ・地形が複雑なので、答えが先でもよかった
- ・調べたことをすべてしゃべらなくていいので、焦点を絞ってほしい
- ・事前打ち合わせをしていないようなら、した方がいいかも
- ・様々な知識の中で要点を挙げてもらいたい。理解力の関係で深い内容は不要
- ・河川争奪の他県事例があった方がよい
- ・河川争奪という言葉になじみがないのでピンとこない
- ・ガイドの方が熱心に準備しているのは感心だが、聞き手は素人なので、もっとアバウトでざっくりで十分
いっそ、資料などを準備せず口頭での説明で十分

7. 自由筆記

- ・一生懸命の説明、ありがとうございました
- ・河岸段丘が香東川によるものなのが印象に残った
- ・地元のことがよく分かった
- ・炎天下で講義を聞くのはきつい。楽しむ程度でよい

8. 備考

- ・日時：令和4年6月12日（日）晴天
- ・ゲスト：丸亀市教育部文化財保存活用課 谷 梢 主任
丸亀市議会 加藤 正員 議員
丸亀市栗熊コミュニティ 大谷 秀雄 会長
NPO)香川のみどりを育む会 才谷 順一 副理事長
綾川町立図書館 横山 正幸 館長

図5 ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪「綾川の流れ（綾川町）」アンケート結果

2022. 10. 16
香川大学危機管理教育・研究・地域連携推進機構

ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪「宇多津のまちと聖通寺山」受講者アンケート（結果）

1. 今日の講座はどうでしたか？
 大変満足 11
 満足 8
 ふつう 1

2. 満足している点と満足できない点があれば教えてください。
 満足：
 ・説明がどのガイドも分かりやすかった。
 ・全部の説明が分かりやすかった。
 ・お題に沿った説明でよく理解できた。
 ・歴史とジオのバランスが大変よかった。
 ・宇多津の古街を初めて歩き、宇多津の歴史に触れたこと。
 ・地質、歴史共に専門の方が説明してくださり、大変満足している。
 ・たくさん歩いたが、車についてきてくれていたので、もしもの時は車に乗れるという安心感があった。
 ・宇多津の街中を歩くことができたこと、聖通寺山の巨石は知らなかったの、見るのができてよかった。
 ・巨石のことがよくわかった。
 ・地形の特徴もよくわかった。
 ・実験がよかった。

満足できなかった点：
 ・昼食場所にトイレがなかった。
 ・地蔵餅が売り切れてしまったこと。

3. 案内はよかったですか？
 大変良かった 11
 良かった 6
 ふつう

4. どの案内がよかったですか？
 ・どなたも親切で詳しい説明がよかった。
 ・すべてよかった(2)。
 ・みなさんよく調べていて説明もよく分かった。
 ・どの方も言葉が明瞭で分かりやすく理解できた。
 ・最後のまとめも話慣れている感じで、経験は大事だと思った。
 ・宇夫階神社の説明が分かりやすく深く知れた。
 ・ゆるぎ岩(2)
 ・聖通寺山礫層
 ・コアストーンの実験が大変良かった(6)
 ・ゆるぎ岩がどうやってできたか、実験でよく分かった。
 ・ゆらぎ石や聖通寺山の成り立ちについて実験、よく工夫されていて、よく分かり良かった。努力されたこともよく分かった。
 ・実験とその説明
 ・ゆらぎ石の説明が分かりやすく、面白かった。

5. お題「ジオで解く、宇多津のまちの発展の謎、東と西の山の巨石の謎、なぜ宇多津のまちは青の山山腹に発展したか？」は適切でしたか？
 はい 17
 いいえ
 わからない 1

6. 改善点
 ・途中離脱による混乱が少しあったので、毎回、出発前に「離脱者は名札を返すアナウンス」をしてはどうか。
 ・歩いていると列が伸びてしまうため、着く前に説明が始まっていて、説明が聞けない時があった。
 ・話すポイントを決めて説明していただきたいところがあった。(宇夫階神社の説明が長かった)
 ・今回の畑会長のように、地元ゲスト案内人がいると楽しい。

7. 自由筆記
 ・大変良く分かりました。
 ・宇多津のことがよく分かった。
 ・事前の準備が大変ですが、よりよくするためよろしくお願いします。
 ・宇多津のまちはこれまで移動の中間点だったが、今日の講義で歩いて、新しい発見がたくさんあったこと、よかったです。
 ・宇多津に3年間勤務していたが、今日教えていただいたことは知らないことばかりで、大変ためになった。
 ・トイレを各地点で案内してくださり、とても安心して歩けました。
 ・お題を最初にはっきり言ってほしかった。

8. 備考
 ・日 時：令和4年10月16日（日）晴天
 ・講 師：香川大学特任教授 長谷川修一
 ・ジオガイド：都築、山本、大川、山下、横山
 ・ゲスト：宇多津町文化財保護協会会長 畑 元 氏
 ・協 力：宇多津町役場（駐車場）

図6 ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪「宇多津のまちと聖通寺山（宇多津町）」アンケート結果

2022.11.20

香川大学危機管理教育・
研究・地域連携推進機構

ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪「豊島」受講者アンケート（結果）

1. 今日の講座はどうでしたか？

大変満足 12
満足 8
ふつう

2. 満足している点と満足できない点があれば教えてください。

満足：

- ・豊島石の由来→石の活用→島の豊かさへ、神社の石造物でよく分かった。
- ・島の米作の元のラグーンから水の豊富さまでその理由もよく分かった。
- ・お弁当を用意してもらえたのは大変ありがたかった。
- ・お題の回答をいただけたのがよかった。配布資料のデータをもらえるときらによい。
- ・豊島石、ラグーン、棚田
- ・凝灰角礫岩について学べた。
- ・資料が豊富でしっかりしている。
- ・狛犬と絡めた豊島石のこともよく分かった。
- ・豊島石を初めて見て、そのきれいさに感嘆した。
- ・個人でなかなか行けないところに行けた。
- ・豊かで美しい豊島を満喫できた。棚田を歩いてなかなかできない経験ができた。
- ・天気もよかった。船が楽しかった。
- ・初豊島を堪能した。
- ・棚田を歩いたのは初めての経験だった。
- ・十分歩いた。

満足できなかった点：

- ・島キッチンのお弁当が冷たかった。
- ・初めに答えがネタバレ状態になったのが残念。
- ・時間が足りず、全部まわれなかったのが残念。

3. 案内はよかったですか？

大変良かった 13
良かった 5
ふつう

4. どの案内がよかったですか？

- ・唐櫃の清水
- ・家浦八幡宮
- ・2人ともよかった。7
- ・狛犬について興味を持てた。2
- ・山西さん
- ・丁場跡についての説明
- ・全体に分かりやすかった。

5. お題「豊島の豊とは何に由来するのか？」は適切でしたか？

はい 19
いいえ 1
わからない 1

- ・豊島はなぜ「豊」島？

6. 改善点

- ・これ以上の改善は難しい。
- ・説明ポイントの間の距離が長いと疲れる。途中、トピックを入れていただければよかった。
- ・歩きながらの説明は、足元も気になり聞こえにくいので、集合してから説明してほしい。

7. 自由筆記

- ・コース作り、苦勞が多いことと思います。いつもありがとうございます。
- ・石丁場に入れるようにしてほしい。
- ・豊島石のお土産がほしくなった。
- ・崩壊のスケールがすごかった。
- ・切符をまとめて購入してもらえてありがたかった。
- ・豊と書いて「て」と読むのはなぜ？
- ・島キッチンはよかった。
- ・今回も強行軍でしたね。ずいぶん歩きました。
- ・ジオガイドの方たちは、毎回素敵な人たちだと思います。

8. 備考

- ・日 時：令和4年11月20日（日）曇
- ・講 師：香川大学特任教授 長谷川修一
- ・ジオガイド：山口、山西
- ・協 力：土庄町
- ・ゲスト参加：土庄町副町長 山本浩司氏
生涯学習課長 宮原正行氏
生涯学習課副主幹 山本法司氏

図7 ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪「豊島」（土庄町豊島）アンケート結果

2022.12.11
香川大学危機管理教育・
研究・地域連携推進機構

ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪「弥谷寺・天霧山」受講者アンケート（結果）

1. 今日の講座はどうでしたか？
大変満足 11
満足 9
ふつう

2. 満足している点と満足できない点があれば教えてください。
満足：
・地質の観点からのツアーは他にはない。
・歴史の話も絡んでいて、興味が持てた。
・ジオの視点でポイントごとに分かりやすく説明いただいた。
・分かりやすかった。
・凝灰岩の立派な岩壁が見ごたえがあった。
・弥谷寺のお寺の歴史についても面白かった。
・ジオガイドの説明がよかった。
・弥谷寺のことがよく分かった（2度来たことがあるが歩くだけだった）
・弥谷寺と地形の特異性が歩いて、実地を見てよく分かった。
・三野津湾クレーターの話はすごかったです。鳥肌がたつた。
・石の実験がとても面白かった。でも外れました。石はまだよく分かりません。
・ジオに関する視点が多く、よく分かった（地質、そのでき方など）

3. 案内はよかったですか？
大変良かった 12
良かった 7
ふつう

4. どの案内がよかったですか？
・最後のクレーターの話、岩石クイズ
・すべてよかったです。(2)
・カルデラの仮説、面白かった。
・最後の実験はプラタモリ風で面白かった。
・分かりやすかった。
・隠し砦の即興の説明がとてもよかったです。
(※木の枝と葉で地形図を作った)
・模型、図、地図などがあって分かりやすかった。
・民俗や歴史の話が組み込まれていてよかったです。
・どの方も詳しく説明してくださり、よく分かった。
・最後のカルデラの説明

5. お題「なぜ弥谷山に「イヤダニマイリ」という民俗信仰が生れたのか？」は適切でしたか？
はい 17
いいえ 1
わからない 3

6. 改善点
・今のままで継続してほしい。
・イヤダニマイリを続けている人の話を聞いてみたいと思った。
・今回マスクが複数あり、よく聞こえた。

7. 自由筆記
・歴史と文化・信仰の組み合わせは大変良いと思った。
・石や地質をもう少し知りたいと思った。
・色々工夫して案内いただいて、少しずつ内容が分かるようになってきました。災害との関係など考える機会になりました。
・ブラボー!!
・自分の住んでいる地域のことを取り上げてくれてよかったです。
・弥谷寺に初めて来ることができた。雨が降らなくてよかった。

8. 備考
・日時：令和4年12月11日（日）曇時々晴
・講師：香川大学特任教授 長谷川修一
・ジオガイド：前川、篠原、宮崎、中村

・最後に語られた疑問を持ちそれを解明するべく学習したことを伝えてくれてよかった。
・解説者の声が後ろの方にも届くと思う。
・説明と反対の仮説、中間の仮説を提示して、どれが一番もっともらしいか考えるのも面白いと思った。

図8 ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪「弥谷寺・天霧山」(三豊市・善通寺) アンケート結果